

# 2020年に向けた文化関係の取組等

文 化 庁  
平成26年3月

## 2020年に向けた文化関係の取組

目標: 2020年を単にオリンピックパラリンピック開催の年とするのではなく、新たな日本の創造の年とする。

### 【2020年に向けた取組】

#### 最近の主なトピックス

- ✓ 文化芸術振興基本法(H13)後の個別法として、「劇場法」(劇場、音楽堂等の活性化に関する法律)制定(H24),大臣指針告示(H25.3)
- ✓ 「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」のユネスコ世界文化遺産登録(H25.6)
- ✓ 「和食;日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産登録(H25.12)
- ✓ 上野「文化の杜」新構想の検討(H25.12~)
- ✓ 文化庁メディア芸術祭(第17回)(H26.2)の開催
  - ・過去最多の応募総数(4347件)
  - ・海外からの応募(2347件) > 国内からの応募(2000件)

#### 文化芸術立国中期プランの策定

全国津々浦々にある有形無形の文化財、多様な文化芸術活動、地域に根付いたお祭りや踊り、稽古事や趣味をたしなむ人の多さは、世界に誇るべき我が国の「文化力」。→これらの基盤を整備するとともに、世界への発信力を強化。その戦略的中期プランを検討中。文化力により、

##### ① 人をつくる

26年度予算案: 子供の「創造力・想像力」育成 = 全国の小中学校への巡回公演等、文化体験機会の拡充

##### ② 地域を元気にする

26年度: 文化財修理強化、文化芸術創造都市の支援

##### ③ 世界の文化交流のハブとなる

26年度: 国際フェスティバルの国内開催や、海外への参加・出展支援(舞台芸術、映画に加え、現代アートへの支援新設)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせ、東京をはじめ日本全国で、日本の伝統や地域の文化芸術活動の特性を活かした**文化プログラム**を提供

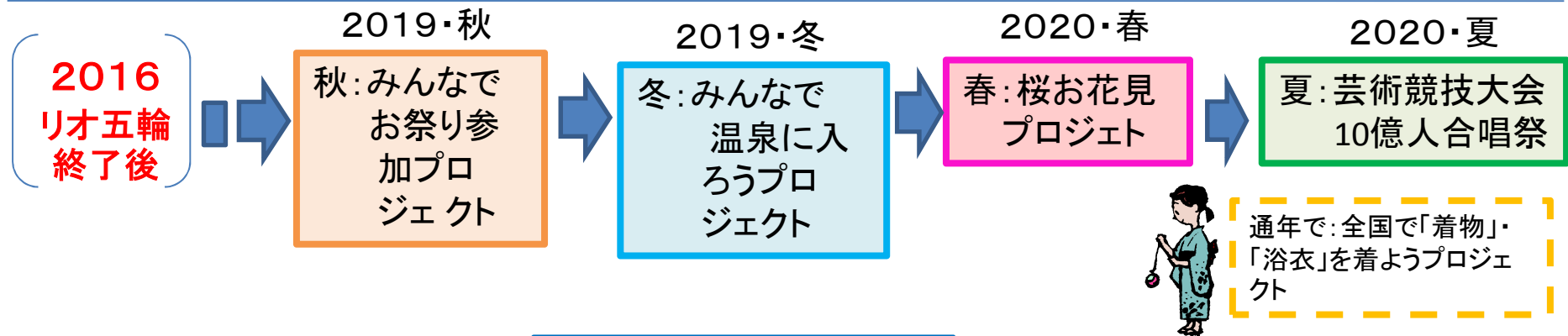
イメージ例: 全国の文化遺産、祭りや文化イベントなどをつなぐ「おもてなしロード」の設定、和装や温泉を勧めるプロジェクト

2020年までに日本各地の文化力の基盤を計画的に強化

### 【目指す2020年の姿】

- ☆ 世界に尊敬され愛される文化大国になっている。  
…多くのアーティスト、若者、文化人、学者等が日本を訪れ、「世界の文化芸術の交流のハブ」となっている。
- ☆ 文化芸術に支えられた「成熟社会の新モデル」を世界へ提示し、日本から新しい価値が創造されている。

# 春夏秋冬に応じた『文化プログラム』の全国展開(イメージ)



## 日本全国の姿

全国を「文化おもてなしロード」(仮称)でつなぎ、全国津々浦々で文化プログラムを行う

**文化おもてなしロード**  
**【全国を貫く一本の道を認定】**  
 → 地域によって、「古代の道」「海人の道」「匠の道」「味の道」等の呼称も

東アジア文化都市イベント【国際会議】

被災地から発信  
 (復興の姿をPRする行事)

お国物語朗読リレー

アニメ・マンガを堪能  
 (アニメの舞台ツアー)

創造都市

着物パレード

トリエンナーレ

創造都市

1万人のアーティストが巡回

世界創造都市サミット  
 【国際会議】

よさこいソーラン

歴史的遺跡に宿泊

田園でおもてなし  
 (生活体験)

キャンプ地でおもてなし

世界遺産

温泉

歴史的街並みの散策

お花見

合唱

アイヌ文化巡り

郷土資料館巡り

日本食

ビエンナーレ